

農地法の許可申請受付切日は毎月10日です。

潮来農委だより

第73号

発行者 潮来市農業委員会
 編集者 広報委員会
 TEL 63-1111
 内線 271・272



潮来市農業委員会

高柳 好男 八代	薄井登三男 香澄	原 正章 大生原	関沢 勝衛 延方	石井 一夫 津知	柄津 幸男 潮来
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

**農地利用最適化
推進委員**
担当地区

堀井 満 堀之内・茂木・清水	草野登美雄 徳島・福島・米島・前川・宮前	小沼 徂伸 水原1・3・釜谷・大生・大賀	吉川吉之助 永山	仲田 孝 島須（宿・古宿・赤須）	高橋 慶治 津知	宮本三千男 西町・七軒丁・大洲・大塚野・日の出	方波見 讓 牛堀	宮本 孝一 新宮・古高・洲崎・下田	鴫田美喜男 上戸（芝宿・台上戸・横須賀）	高品二美代 十番・十四番	黒須 一夫 須賀・曲松・小泉・西・東
-------------------	-------------------------	-------------------------	-------------	---------------------	-------------	----------------------------	-------------	----------------------	-------------------------	-----------------	-----------------------

農業委員 担当地区

謹賀新年
 今年もよろしく
 お願いいたします

◆ 主な内容 ◆

- ◇ 会長あいさつ、市長あいさつ……………P. 2
- ◇ 農業改良普及センターからのお知らせ、他……………P. 5
- ◇ 潮来市農業施策に関する意見書を提出……………P. 3
- ◇ 農業委員会活動報告、他……………P. 6
- ◇ 認定農業者及び市議会との意見交換会を実施、他……………P. 4



新春のごあいさつ

潮来市農業委員会

会長 堀 井 満

新年あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、平素より本農業委員会の活動に対しまして多大なるご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、農業委員会等に関する法律の改正により平成28年4月に新体制でスタートをした本市農業委員会も、この3月で3年が経過しようとしております。

この間、必須業務となりました担い手農家への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入者の促進など農地利用の最適化に向けた取り組みを行って参りました。

しかしながら、農業を取り巻く環境は、経済のグローバル化に伴い農産物輸入の増加等による価格の低迷、担い手農家の減少や高齢化、遊休農地の増大など生産構造基盤の脆弱化が懸念されており、構造改革をさらに加速化させていくことが求められています。

このような状況のなかで、今年度より3か年計画で農地利用実態調査を実施しているところであります。この調査は、市内の農地1筆毎に現在の利用状況、今後の利用意向を確認し、更なる農地利用の最適化を推進するための重要な調査になります。つきましては、農地所有者の皆様におかれましては、本調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

新たな年を迎え、農業委員と農地利用最適化推進委員が一体となり農業委員会に求められている課題の解決に向け、活動をより一層強化し取り組んで参りたいと考えております。

結びとなりますが、皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

潮来市長

原 浩 道

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、慶び多き初春をお迎えのことと存じます。日頃の市政全般へのご協力に対しまして、あらためて感謝申し上げます。

さて、本市は、霞ヶ浦や北浦に挟まれた豊かな水郷地帯であり、歴史・伝統、さらに、豊富な農水産物など、数多くの優れた地域資源を有しております。

現在、少子高齢化に伴い人口減少が全国的に懸念されており、国会においても外国人労働者の受け入れ拡大に向けた改正出入国管理法が可決され、4月から施行されることになっております。農業を取り巻く環境でも同じように、農業従事者の高齢化や農家の担い手の不足など、心配な状況となっております。

この厳しい情勢の中ではありますが、県内最速で提供できる、極早生の『二番星』、潮来オリジナル米『潮来あやめちゃん』と皆様に愛されるお米としてブランド力を更に向上させていかなければなりません。生産者はじめ関係者と行政とで協力していくことが必要と思われれます。

現在、『道の駅いたこ』にて、コメの消費拡大につなげるため、潮来産の『夢十色』の米粉を使ったベトナム料理の『フォー』の販売に取り組んでいるところでございます。

農業を継続していける基盤整備の充実と、高品質で安全な農産物を提供できる元気な農家を育てる取組み、そしてお米に匹敵する潮来市を代表する農作物の商品開発等も推進していくためにも、行政としましても、引き続き、農家の皆様を応援していきたいと考えています。

結びとなりますが、新しい年が皆様にとりまして、健康で飛躍できる年となりますことを心からご祈念申し上げ、新春のごあいさつといたします。

— 潮来市の農業振興に向けて —

潮来市農業施策に関する意見書を提出

潮来市農業委員会は、平成30年11月26日、原浩道市長へ「平成31年度潮来市農業施策に関する意見書」を提出しました。

この意見書は、農業委員会等に関する法律第38条第1項に基づくもので、農地等の利用の最適化の推進等の改善についての意見を取りまとめ、農業委員会より、市長へ提出するものです。



主な事項は次のとおりです。

1. 米づくりに対する支援について

- 1) 米の直接支払交付金に代わる新たな制度の創設、価格補償等につき検討してください。
- 2) 地域オリジナル米「潮来あやめちゃん」、早生の有望品種「一番星」の生産量の拡大、都内米穀店等への販売促進等のPR活動について引き続き支援をしてください。
- 3) カメムシ防除について、地域毎の一斉防除等の体制整備を検討してください。

2. 担い手に対する支援について

- 1) 新規就農者等の育成・確保のため、制度資金の創設等経営上の各種支援につきまして検討してください。
- 2) 認定農業者等、地域の担い手に対し、市単独で農業機械・施設の整備に対する補助事業等の創設につきまして検討してください。

3. 担い手への農地集積・集約化に対する支援について

- 1) 現在実施している農地流動化奨励金の継続並びに十分な予算の確保を図りたい。
- 2) 農地中間管理事業の制度、手続きの見直し、簡素化について検討してください。
- 3) 簡易な土地改良事業の創設等、基盤整備に対する支援を検討してください。
- 4) 未相続農地が増えており、賃借権の設定等に支障が生じていますので、農地の相続の周知・徹底に努めてください。

農業委員会総会日程

農地法の許可申請等は、毎月次の日程で行われています。

締切日	毎月10日
農地農政相談日	随時
現地調査日	毎月18日
総会日	毎月25日

※土曜・日曜・祭日等と重なるときは、変更になります。

■議案審査の状況を公表します。

期間：平成30年7月～平成30年12月
農業委員会定例会における議案審査の件数は下記のとおりです。

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農地法第3条 (農地のままでの権利の移転)	2件	1件	3件	2件	2件	4件
農地法第4条(自己転用)		1件	1件		1件	
農地法第5条 (権利の移転を伴う転用)	2件	2件	3件	2件	4件	
利用権の設定 (農業経営基盤強化促進法による)	4件	1件	5件	13件	28件	29件
農地の現況確認証明				1件	1件	
その他	1件	1件	1件	1件	1件	

農業委員会・認定農業者及び市議会との意見交換会を実施しました。

平成三十年十月二十五日午後三時三十分から割烹旅館霞ヶ浦において、農業委員会委員、認定農業者、市議会教育福祉経済委員会委員、並びに係機関職員、合わせて五十名の参加により意見交換会を実施しました。

最初に鹿行農林事務所担当職員の方より「GAPを取り巻く情勢、今後の動き」並びに「農地の集積・集約化について」の研修がありました。その後、「農地の集積・集約化について」をテーマに意見交換を行い、認定農業者から、貸し手の農地の状況、メガファーム事業の進捗状況等の質問があり、また、集積を進めるために条件の悪い農地については、国・県の補助事業を導入して基盤整備を実施して欲しい等、様々な意見がでました。なお、県の担当者から、ある程度の要件は伴うが農地中間管理事業を利用して簡易な土地改良を行い集積につなげて欲しい等というアドバイスがありました。

短い時間でしたが、今回出された意見を農業者の代表の声として、各関係機関において、今後の農業施策の中に取り入れていただければ、意見交換会が有意義なものになると思いました。



道の駅いたご感謝デーに参加して

平成三十年十月十四日に開催された道の駅いたご感謝デーに農業委員会として参加し、サツマイモの試食会と販売を行いました。

サツマイモは、農業委員会が自ら、耕作放棄地解消事業により解消した畑で栽培したものです。当日は、販売用に土付きのイモをコンテナ約三十個（約三〇〇キログラム）用意し、一袋（一キログラム）、二〇〇円で販売をしました。小雨まじりの天候でしたが、人の出が多く、試食として蒸かしイモを用意したところ好評で、午後一時には用意したイモが完売してしまいました。昼は道の駅いたこの水郷直販委員会の皆様に美味しい餅を用意してもらい一緒に食事をしながら交流を深めることができました。

売上金については、社会福祉協議会へ寄付をいたしました。



道の駅いたご花壇の整備について

道の駅いたご入口県道沿いの花壇（約二〇〇メートル）に、農業委員会、道の駅いたごサポーターの人たちの手により、花の植栽をして今年三月からきれいな花が咲き（三月～十月、サルビア、十一月からパンジー）、道の駅を訪れる人や、ドライバーの人たちに喜ばれています。

これは、農業委員会、道の駅いたごサポーターの皆様の夏の水かけ、一週間ごとの草取りなど花に愛をこめて育てたものです。終わりに、花壇にするまで土の入れ替え、堆肥の投入、重機、ダンプの提供等ボランティアで仕事をしてくれた人たちがいたから出来たことと感謝しております。

農地利用最適化推進委員 関沢 勝衛



(農業委員会のブース)

農業改良普及センターからのお知らせ

業務加工用米品種「とよめき」を栽培してみませんか

水稲経営の規模拡大を進めていくためには、異なる熟期の品種を組み合わせた作期分散や、省力低コスト栽培の導入が必要となっています。JAなめがたでは、H29年から実需者の要望に基づく加工用米の契約栽培が始まり、「とよめき」の作付けが増加しています。

1. 地域での栽培状況

行方地域では、H29年は約60ha作付けされ、収量は約660kg/10a、H30年は約100ha作付けされ、収量は約630kg/10aでした。

2. 「とよめき」の収益性試算

「とよめき」の10aあたりの所得は50,494円となり、「コシヒカリ」と比較して23,134円高くなります。

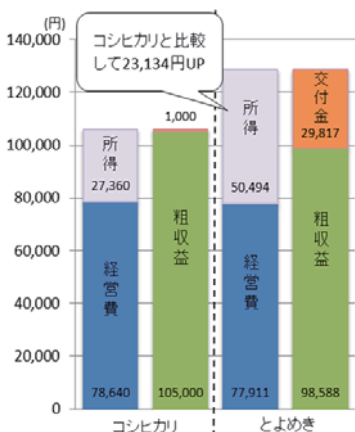


図1 H30年のコシヒカリ・とよめきの10aあたりの収益性試算

※収量はH30年産（普及センター調べ）
※経営費は25年度版経営試算ナビ（水稲10ha）に準ずる
※出荷経費は、玄米袋（78円/袋、一般米）、フレコン（700円/袋、加工用米）で計算した
※とよめきは市の基準収量まで加工米扱い、超過分は他の品種の価格で買い取りとする。

なりました（図1）。

また、「とよめき」だけでなく輸出米を経営に導入した場合、収益性の面だけでなく、収穫期の作業分散にもつながり、経営的に有利に働くと考えられます（表1）。

3. 栽培に関する注意事項

なお、一部の飼料米と同様にトリケトン系4-HPPD阻害型除草成分（ベンゾピシクロン、テフリルトリオン、メソトリオン）に感受性が高く、使用すると白化し枯死するため、それらの成分を含む除草剤は絶対に使用しないで下さい。

生産に関する問合せはJAなめがた米穀流通課（0299-72-1880）または行方地域農業改良普及センター（0299-72-0256）までお願いいたします。

表1 とよめき・輸出米導入経営シミュレーション（10ha規模の場合）

	品種(田植日, 収穫日)	面積(ha)	粗収益* (経営費)	所得*
導入前	一番星 (4/20, 8/9)	2		
	あきたこまち (4/24, 8/14)	4	10,982 (6,768)	4,213
	コシヒカリ (5/9, 9/5)	4		
導入後	一番星 (同上)	1		
	あきたこまち (同上)	1.5	11,986	
	コシヒカリ (同上)	1.5	(6,723)	5,263
	とよめき (5/8, 9/17)	3		
	輸出米 (5/11, 10/3)	3		

約100万円増

※(千円)

農地中間管理事業を活用して皆さんの農地を活かしましょう!

農地中間管理事業は、貸し手と借り手（認定農業者等）の間に、農地中間管理機構が入り、借り手にまとまりのある形で農地を利用できるよう貸し付ける事業です。

主なメリット

●農地の貸し手

- ・設定した地代は、機構から確実に支払われます。
- ・公的機関なので、安心して貸付が出来ます。

●農地の借り手

- ・長期の借入期間により（原則10年）安定した営農が可能です。
- ・地代は、機構がまとめて支払っていただき、機構が貸し手へ個別に支払います。

●借り受ける農地の主な基準

- ・農業振興地域の農地であること
- ・再生作業が著しく困難な遊休農地でないこと

※詳しくは、潮来市産業観光課農政グループ（☎ 63-1111）までお問合せ下さい。

■農業者年金で生涯所得の確保を!

◆農業者年金へは、次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます。

国民年金第1号被保険者

年間60日以上農業に従事

60歳未満

◆全国農業新聞◆

農業情報が満載「全国農業新聞」で、一歩進んだ農業経営と豊かな家庭を!

発行日 / 毎週金曜日 購読料 / 月700円

お申し込みは、農業委員会へどうぞ（☎ 63-1111、内線 271・272）

農業委員会活動報告(後期分)

8月17日	農地部会・農政部会 農地利用最適化推進委員会議	11月4日	道の駅いたこ花壇の植替作業
27日	8月定例総会・全員協議会・農業者年金研修会	16日	農政部会・農地利用最適化推進委員会議
9月18日	農地部会	20日	農地部会
20日	農政部会・農地利用最適化推進委員会議	26日	11月定例総会・全員協議会 市長への意見書の提出(市農業施策に関する意見)
23日	潮来市戦没者追悼式	29日	全国農業委員会会長代表者集会(東京都港区)
25日	9月定例総会・全員協議会	12月4日	広報委員会
26日	農地利用状況調査(潮来地区)	14日	農地部会
27日	農地利用状況調査(津知地区)	17日	農政部会・農地利用最適化推進委員会議
10月1日	農地利用状況調査(延方地区)	21日	12月定例総会・全員協議会
2日	農地利用状況調査(大生原地区)	28日	仕事納め
3日	農地利用状況調査(香澄地区)		
4日	農地利用状況調査(八代地区)		
14日	道の駅いたこ感謝デーに参加(サツマイモ販売)		
16日	茨城県農業会議会長・事務局長会議(水戸市)		
18日	農地部会		
25日	農政部会・農地利用最適化推進委員会議		
30日	10月定例総会・全員協議会 農業委員会・認定農業者及び市議会との意見交換会 耕作放棄地解消事業・イモ掘り体験学習(潮来小児童・大生地内)		
		1月4日	仕事始め
		17日	農地部会
		20日	農政部会・農地利用最適化推進委員会議
		25日	新春賀詞交歓会 1月定例総会 農業委員会会長研修会・農政新春懇談会(水戸市)

事業予定(平成31年)

潮来小1・2年生がイモ掘りを体験 — 耕作放棄地解消事業 —

昨年の10月30日に潮来小学校の1・2年生78人が、大生地内の再生畑でイモ掘りを体験しました。イモ掘り体験学習も六年目に入ります。

当日は、秋晴の中、堀井会長のあいさつの後、1年生、2年生に別れてイモ掘りをはじめました。大きなイモを掘って喜んでいたり、袋に入り切れないほど掘ったり、友達と話しながら掘ったりと、短い時間でしたが楽しそうにイモを掘っていました。イモ掘り終了後、水郷県民の森活動体験施設に移動して、農業委員会で用意した焼きイモ等を食べ、新イモの試食を行いました。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年、梅雨が短く、八月には、猛暑が続き、十二月は、暖冬になる等、不安定な天候のため、野菜の播種、生育が遅れたり、米の収量、品質が低下したり農作物の栽培にとっては大変な一年間でした。これも地球温暖化の影響が少しずつ出てきているのではないかと思います。

さて、農委だよりも第七三号の発行になります、皆様に農業関係の情報を提供する重要な手段ですので、広報委員会、読みやすい広報誌を目指して、写真を多くしたらどうか等、協議をしながら作成しています。最後に、今年の四月には、農業委員会委員の改選があり、委員も変わりますが、農業委員会活動に對しまして引き続き、皆様のご協力をよろしく願います。

広報委員会

- 委員長 高橋 慶治
- 副委員長 高品 二美代
- 委員 鶴田 美喜男
- 委員 方波見 謙
- 委員 宮本 三千男